

医療従事者向け ピジョンオンラインセミナー

メンタルヘルスケア

妊産婦のメンタルヘルスケアと切れ目のない支援

現在、日本における産後うつの可能性は7～10人に1人と言われ、誰もがなりうる可能性があります。また父親でも発症するので、家族全体をサポートしていく必要があります。さらに、コロナ禍でそのリスクは高まっていると言われていています。妊娠中からパートナーとともに知識を得ておくこと、産後を具体的にイメージし準備すること、地域にある社会資源を活用することは、私たち医療者が妊産婦に提供すべき視点です。また、産後の身体的な回復を支援することや母乳育児に自信を持たせるケアは、メンタルヘルスを健やかに保ち、母親の役割への満足感にもつながっていきます。妊娠中から産後までの切れ目のない支援の具体的実践について考えていきましょう。

講師

市川 香織 先生

(一社) 産前産後ケア推進協会 代表理事 / 東京情報大学看護学部看護学科准教授



【プロフィール】

千葉県出身。千葉大学医学部附属助産婦学校卒業。2012年修士（経営学）、2017年博士（看護学）修了。千葉大学医学部附属病院、助産師学校などに勤務後、2004年～2005年厚生労働省へ出向し、母子保健行政に携わる。2009年～2013年まで、(公社) 日本助産師会事務局長、2010年（株）日本助産師会出版を設立し2018年まで取締役を務める。2013年（一社）産前産後ケア推進協会を設立し、代表理事に就任。2014年文京学院大学保健医療技術学部看護学科准教授、2018年4月より東京情報大学看護学部看護学科准教授に就任、現在に至る。(公財) 母子衛生研究会理事。

〈ZOOMウェビナー配信(ライブ配信のみ)となります。〉 ※事前にZOOMのアプリをインストールし、視聴確認をお願いします。

日時	セミナー名	受講料(税込)	申込開始日
6月12日(土) 13:30～15:30	妊産婦のメンタルヘルスケアと切れ目のない支援 ・ 出産を取り巻く現状 ・産後うつの現状 ・出産準備教育の工夫 ・ 産科入院中に行うべき支援	2,000円	3/15(月)
11月6日(土) 13:30～15:30	・ エジンバラ産後うつ病自己質問票(EPDS)の活用 ・ スクリーニングの方法 ・ 産後ケアの活用と効果 ・子育て世代包括支援センターとの連携 他	2,000円	8/17(火)

※内容は一部変更になる場合があります。

対象

母乳哺育・授乳支援などに携わる、助産師・看護師・保健師・医師・栄養士・薬剤師、他医療従事者
各回90名様先着順 ※定員になり次第、申込受付を終了いたします。

■お申し込み方法

下記ウェブサイト「ピジョン医療従事者向けサイト」の特設ページよりお申込みください。
ウェブサイトはパソコンとスマートフォンに対応しています。

<https://ai.pigeon.co.jp/seminar/detail-21-ichikawa.html>

■セミナーに関するお問合せ先

ピジョンセミナー運営事務局 (PBコンベンション) TEL: 090-8514-2556

特設ページは
こちら

